

わくわく

令和4年度事業所向け 児童発達支援評価表

チェック項目		集計結果 (表示は%)				
		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100.0	0.0	0.0	個室を利用して分散して過ごしている
	2	職員の配置数は適切であるか	85.7	14.3	0.0	利用人数に対して適切に配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	71.4	28.6	0.0	玄関の段差が高く転倒の可能性あり。開き戸や引き戸にもクッションがない為、指を挟む可能性がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0	0.0	0.0	児童帰宅後の玩具の除菌を行っている。個室学習の場、集団活動の場など臨機応変に環境設定に努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためにP D C Aサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	42.9	42.9	14.3	全スタッフで行うことが難しいので、書面(ノート)などを活用して職員全員の参加を図っている。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	85.7	0.0	14.3	年度初めに話し合っている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	71.4	0.0	28.6	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57.1	0.0	42.9	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0	0.0	0.0	研修はあるが少ない。人数の事もありなかなか参加できない。ミーティングを行情報の共有に努めている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	複数のスタッフが関わり意見交換を行い作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	85.7	0.0	14.3	

チェック項目		集計結果 (表示は%)				
		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85.7	0.0	14.3	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	71.4	28.6	0.0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	71.4	28.6	0.0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0	0.0	0.0	季節に応じたプログラムや多様なプログラムを立案できるように話し合いを行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別計画と集団行動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	プログラムを個や場面に応じて設定している。
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	57.1	42.9	0.0	できない日もある。
	18	支援開始後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	57.1	42.9	0.0	職員全員が揃わないことも多いので、ほとんどできていない。 次の日などに昨日の様子意見交換や書面、ノートでの共有に努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0	0.0	0.0	個別記録を毎日記入している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0	0.0	0.0	半年に一回と必要に応じて行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0	0.0	0.0	児童発達支援管理責任者や、その児童を担当する機会が多いスタッフが参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	57.1	28.6	14.3	
	23	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0.0	0.0	100.0	対象者なし

チェック項目		集計結果 (表示は%)				
		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	0.0	0.0	100.0	対象者なし
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか	100.0	0.0	0.0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100.0	0.0	0.0	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	57.1	28.6	14.3	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	28.6	71.4	0.0	コロナ禍のため機会は少ないが、公園等で活動する際は、障害のない子どもと交流を可能な限り図るようにしている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	57.1	42.9	0.0	
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0	0.0	0.0	連絡ノート、送迎時に話をしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	28.6	57.1	14.3	
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0	0.0	0.0	主に契約時に説明を行う。また、適宜必要に応じて説明を行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100.0	0.0	0.0	
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0	0.0	0.0	送迎時に行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0	85.7	14.3	コロナ禍のため父母の会の活動の機会が少ない。また保護者会も開催出来ていない。

チェック項目		集計結果 (表示は%)				
		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
への説明責任等	36	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0	0.0	0.0	申し入れがあったらすぐにスタッフに共有し意見交換を行い、保護者対応に努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0	0.0	0.0	法人が定期的に発行する会報誌内に、活動の様子を載せている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	85.7	0.0	14.3	鍵の付いた部屋にしまっている
	39	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	85.7	0.0	14.3	送迎の時などを使ってなるべくご家族と話すように心がけている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	71.4	28.6	0.0	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100.0	0.0	0.0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0	0.0	0.0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100.0	0.0	0.0	契約時や更新時のアセスメントにて必ず確認を行い、適時変更がないか確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.7	0.0	14.3	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0	0.0	0.0	共有し、今後の対応、再発防止に努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0	0.0	0.0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	85.7	0.0	14.3	現在該当者はいないが、法人で作成した身体拘束等の適正化のための指針に基づき運用しており、説明と計画の記載を行うこととしている。